

## 議題2 「ひらつか男女共同参画プラン2017」令和3年度評価について

## 事業計画の実績評価を「計画どおり実施できなかった」と評価した事業(7事業)

事業No	担当課	事業	令和3年度事業実績	評価理由
2	職員課	女性管理職の登用推進	<p>コロナウイルス感染症対策で研修は実施できなかったが、女性活躍に関するセミナーに研修担当者が参加し、課題や今後考えるべき視点、効果的な取組み事例について理解を深めた。</p> <p>【女性管理職割合】 R3.4.1時点 14.1%</p> <p>【R3年度昇格試験受験者の女性割合】 17% (対象女性割合 36%)</p>	同様のセミナーに研修担当者が参加し理解を深めたが、コロナ対策で研修は実施できなかったため
8.1	行政総務課	市審議会等への女性委員の登用推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「附属機関及び懇話会等の設置状況及び委員等選出状況」について全課に対し照会を行った際、「附属機関及び懇話会等に関する指針」を順守するよう意識啓発を図った。</li> <li>・多くの委員を推薦いただいている団体の実態把握は行えなかった。</li> </ul>	各課への意識啓発は行ったが、団体の実態把握は行えなかったため
8.2	各課	市審議会等への女性委員の登用推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プランに掲載している市審議会等 77のうち、46の市審議会等で実績があった。46のうち10が「計画どおりに実施できなかった」、また、46のうち14が達成評価が「遅滞」であった。</li> <li>・市審議会全体の女性委員割合は 27.1% (R4.3.31 現在)。前年度 26.6% (R3.3.31 現在)</li> </ul>	各課の実績評価により、計画どおりにできなかった市審議会等があるため
13	各課	地域への意識啓発	19課のうち8課で実績があった。8課のうち2課が「計画どおりに実施できなかった」が、達成評価は実績があった8課全てが「順調」であった。	実績があった全ての課で、計画どおりに実施できなかったため

事業 No	担当課	事業	令和3年度事業実績	評価理由
21	地域包括ケア 推進課	家族介護教室の開催	計画では6回開催予定だったが、コロナウイルス感染症の蔓延防止等重点措置期間中の3回は中止となった。 開催出来た3回は、延べ22人参加。	コロナウイルス感染症防止のため開催を中止したため
56	文化・交流課	外国につながるのあ る市民への啓発	ひらつか国際交流フェスティバルが開催されず、当該チラシを配布する機会がなかった。	実績に記載のとおり、チラシを配布することができなかったため
73.2	健康課	学校教育における性 教育、健康教育の実 施	◆中学校における思春期教育 〈内容〉思春期の身体の特徴、妊娠のしくみ、性感染症、命の大切さ等に関する講義及び体験〈学校における思春期教室について〉 ・市内11校（計1,198人）実施 ・市内にある特別支援学校 高等部（計30人）実施 新型コロナウイルス感染症防止等の事由のため2回分（中学校・特別支援学校）中止。 ◆思春期連絡会 ・新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止。	中学校に向けての講座は実施できたものの、連絡会の開催が出来なかったため

事業目標の達成評価を「遅滞」と評価した事業(7事業)

事業 No	担当課	事業	令和5年度までの目標	評価理由	次年度への対応
2	職員課	女性管理職の登用推進	管理的地位にある職員に占める女性割合を25%に引き上げた	目標数値に達していないため	令和3年度に参加したセミナーで得た知識を活用し、女性職員がやりがいをもって働ける職場風土を醸成するため、研修を2回実施する。
8.1	行政総務課	市審議会等への女性委員の登用推進	附属機関及び懇話会等の設置状況及び委員等選出状況について、年度当初に全課に対して照会を行う中で、「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守するよう意識啓発をし、女性委員の割合が前年度よりも増加した	意識啓発は行ったが、女性委員の割合の増加は僅かであったため	意識啓発を行うとともに、多くの委員を推薦いただいている団体の実態把握を行う。
8.2	各課	市審議会等への女性委員の登用推進	市審議会等の女性割合 40%	女性割合が微増したものの、目標の40%には乖離しているため	各主管課が目標達成への意識を持ち、達成評価が「遅滞」の市審議会等は計画を見直すなど改善を図る。
27	産業振興課	男女がともに仕事と家庭生活を両立できる環境づくり	ユースエール、くるみん、えるぼし等の働きやすい環境づくりに関する認定を受けた市内企業件数(累計)が10社となった	認定数が少ないため(現在5社)	さらなる普及・促進策を検討する。

事業 No	担当課	事業	令和5年度までの目標	評価理由	次年度への対応
32	人権・男女共同参画課	イクボス養成と拡大	市役所における担当長以上のイクボスの割合が100%となった	研修、庁内情報紙での促しを実施したものの、昨年度よりも宣言者割合が下がっているため	引き続き、計画に基づき研修の実施や庁内情報紙の発行と併せて、宣言状況に応じて個別に対象者宛てにメールで宣言を促していく。
56	文化・交流課	外国につながるのがある市民への啓発	外国籍市民が多く集まる関係団体主催等イベントにおいて、外国籍市民に対してDV防止、相談窓口等の多言語のちらしを配布することで情報提供を継続させ、暴力排除につなげた	情報提供をすることができず、暴力排除につなげられなかったため	ひらつか国際交流フェスティバル以外にも当該チラシを配布して情報提供できる機会がないか検討する。
77	保険年金課	特定健康診査・特定保健指導の受診率向上	特定健診受診率42%、特定保健指導実施率23%	受診率が例年通りで推移しているため、令和5年の目標達成に向けては遅延しているため	特定健診・特定保健指導ともに利用勧奨の時期を工夫し、より多くの市民が高い健康レベルを維持できるよう働きかける。